

科目名	キャリアゼミ1						年度	2024
英語科目名	Career Seminar 1						学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必／選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※ 講義
担当教員	山本璃空	教員の実務経験	有	実務経験の職種	プロデューサー、メディアクリエイター			

【科目の目的】

各進路に対応する専門分野について学びます。

【科目の概要】

各進路に対応する専門分野の教員が指導するゼミです。

【到達目標】

積極的に講義に参加し、各専門分野においてより高いレベルでの知識やスキルを身に付ける。将来、専門分野におけるスペシャリストとして活躍できるプロフェッショナルな人材になることを目標とする。

【授業の注意点】

この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ループリック

評価基準 ルーブリック					
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標A	専門知識を網羅的に説明できる		専門知識を説明できる		専門知識を説明できない
到達目標B	専門知識を幅広く実践できる		専門知識を実践できる		専門知識を実践できない
到達目標C	専門知識を柔軟に応用できる		専門知識を応用できる		専門知識を応用できない
到達目標D					
到達目標E					

【教科書】

プリント資料

【參考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

- * 授業内容を反映し理解度を確認する。
 - * レポートの内容をみて理解度と考察力を確認する。
 - * 出席率、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアゼミ1 Career Seminar 1			年度	2024
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法 自己評価
1 課題発表 概要説明	第一課題 課題の趣旨を理解		1 資格対策とは	授業対象資格の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2 実践	第一課題 現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7 まとめ	応用方法を学ぶ		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8 課題発表 概要説明	第二課題 課題の趣旨を理解		1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13 実践	現場を想定した体験		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14 まとめ	応用方法を学ぶ		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15 総合復習	復習の実践		1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 資格取得の可能性	授業対象資格を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかつた、D：まったくできなかつた

備考 等